

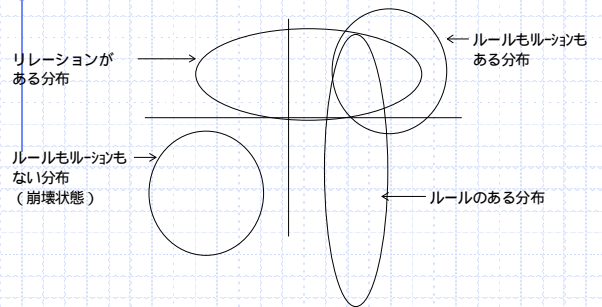
Q-Uを活用した児童への対応と学級経営の改善

名城大学 曾山和彦

2009.6.3

学級の状態把握

～ルールとリレーションのパターン分布～



アセスメント・対応策検討に向けて

- 素点から学級状態把握と具体対応のヒントを得る -

学校生活意欲尺度、学級生活満足度尺度、ソーシャルスキル尺度の素点のうち、**ネガティブ**評価を拾い上げる



チェックシートを「縦に見る」 **学級状況把握 & 全体支援**
チェックシートを「横に見る」 **個別状況把握 & 個別支援**

A学級全体アセスメント・対応策

1. 満足度尺度プロットから大まかに
・プロットの型は **斜め型**
・対応策の基本は **ルールの促進**
・対応の難しさが予想されるのは何故か

横寄せ、縦上げの2方向支援だから

2. 満足度尺度素点から丁寧に
・承認・被侵害のどちらが気になるか **被侵害**
・対応策の焦点は

言動の「暴力」をどう抑えるか

A学級全体アセスメント・対応策

3. 意欲尺度グラフから大まかに
* K小では学級トータルのグラフはないので、男女個々のグラフから傾向をつかんでみる

・意欲の状態は

友達、学級への意欲はあるが、学習意欲(特に男子)の低さが気になる

4. 意欲尺度素点から丁寧に
・対応策の焦点は

質問に答える・意見発表の抵抗をどう取り除くか。成績向上の努力をどう育むか

A学級児童個別アセスメント・対応策

1. 満足度尺度プロットから大まかに
・教師の目とデータのズレを確認 **男子**
2. 満足度尺度素点から丁寧に
・児童の承認及び被侵害の認知を確認
3. 意欲尺度素点から丁寧に
・児童の承認及び被侵害の認知を確認

例; 最も気になるのは女子。言葉に傷つき、疎外感が強いかもしれない。友達はいようだが、話を聴くなど、早急な個別支援は必要

K-13法の意義

1. 共通土俵(Q-U)に乗った事例検討のスタイルであり、アセスメントと対応策の軸がぶれない
2. KJ法を取り入れるため、声の大きな人、主張の強い人だけの意見が通ることが避けられる
3. ブレインストーミング(相手の考えを否定しない話し合い)のルールの下、お互いの「引き出し」を開きやすい

7

ショートK-13法～対応策検討～

1. 対応策の焦点確認
 言動の暴力をどう抑えるか
2. グループ作戦会議(10分)
 * 具体策を出し合い、グループ案をまとめる
3. グループ案発表(15分)
 * 簡潔に発表

正式なK-13法は、事例提供者がどの案を採用するかを決める手順をとるが、本日は省略

8

秋田の実践紹介

本で教えるルール・マナー

気になる児童(小4)の暴言が改善。周囲の児童の行動変容もあり

ロン・クラーク著
「みんなのためのルールブック」

人付き合いのコツがイラストを通して楽しく学べる。



9

愛知の実践紹介

継続的なSST実施～Q-U得点変容

Table5 高学年のHyper-QU各得点平均値の比較

	N	5月	2月	t値
承認得点	313	18.88(3.49)	20.07(3.56)	5.75**
被害者得点	313	8.86(3.32)	8.33(3.31)	2.47*
友達関係得点	313	10.33(1.63)	10.86(1.54)	5.41**
学級生活得点	313	9.56(1.72)	9.90(1.85)	3.24**
学級の整理得点	313	9.96(1.82)	10.29(1.74)	3.23**
配慮スキル得点	313	28.66(3.06)	29.00(3.77)	1.54ns
かかわりスキル得点	313	25.51(4.33)	26.47(4.79)	3.56**

()内は標準偏差 * $p<0.05$ ** $p<0.01$

週1回の「SSTタイム」(朝の15分)がきっかけとなり、学級満足度が上がったのではないかと

10

「被侵害」得点ダウン具体対応例

◆対人及び生活ルールを教える・考えさせる

<具体対応例>

1. ルールが「守れない」時を見逃さない
(対応; 対決アイメッセージ、確認の質問など)
2. ルールが「守れている」時を見逃さない
(対応; 認める、褒める、勇気づける)
3. 楽しいゲーム、SST

11

ソーシャルスキル・トレーニング例

演習; 上手な頼み方
(状況; 消しゴム、鉛筆を貸してもらおう)

- A お願いする
- B 理由をつけて一度断る
- A 再度お願いする(理由をクリアする代案で)
- B 了承する
- A ありがとう、助かった、等

* ペアで行う、アサーションロールプレイ

12

ソーシャルスキル&SST ~私が大切にしている言葉~

1. してみせて 言って聞かせて
させてみて 褒めてやらねば 人は育たず
2. 子どもたちが出す「鬼の心」の鎮め方を教えるのが大人の役目
3. 日に用いて知らず

13

Q-U確認事項

次ページ以降の資料は確認のため
にご活用ください。

14

参考資料

Q-Uとは

ハイパーQ-Uは、
ソーシャルスキル尺度が加わる

- ◆河村(1994)により開発された診断尺度。
- ◆学級満足度尺度と学校生活意欲尺度、自由記述からなる。

教師が使える

利点

1. 短時間でできる
2. 気になる子どもを事前に発見できる
3. データ理解に専門性を必要としない
4. 視覚化されている

15

参考資料

学級満足度尺度

(いごちのよいクラスにするためのアンケート)

子どもの承認感、安心感を測定するために、
約300問から絞り込まれた質問項目により構成

小学校版
全12問(承認6・安全6)

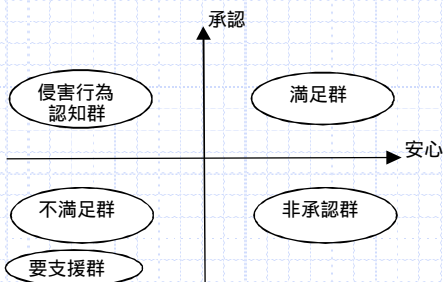
中学・高等学校版
全20問(承認10・安全10)

承認感と安心感の高低の組み合わせにより、
結果は4群にプロットされる

16

参考資料

学級満足度尺度の理論的背景



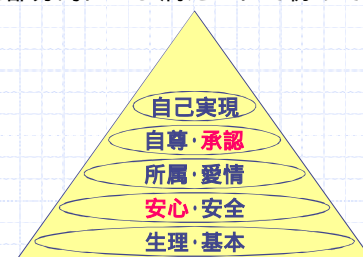
マズローの欲求階層説を理論的背景に置く

17

参考資料

マズローの欲求階層説

- ◆第一欲求(生理・基本)が満たされると、第二欲求(安心・安全)が生じ、これも充足されると第三欲求へ進む。上位欲求は下位欲求がたとえ部分的にせよ満たされて初めて発生する



18

参考資料

4群の特徴

満足群; 勉強、生活面で自ら動ける(1次支援)

非承認群; 嫌なことは感じていないが、承認感がないため、意欲が落ちている(2次支援)

侵害行為認知群; 勉強、生活面での意欲はあるが、人間関係上のトラブルを抱える。被害者意識の強いケースもあり(2次支援)

不満足群; 承認・安心感が乏しく、多くは個別・緊急対応を要する(3次支援)

参考資料

子どもの必要とする支援レベル

1次支援 → 一斉指導に自ら参加できる子ども

2次支援 → 一斉指導に参加するには教師のさりげない配慮と支援が必要な子ども

3次支援 → 一斉指導に参加するには個別の特別な支援が必要な子ども

学校生活意欲尺度

参考資料

(やる気のあるクラスをつくるためのアンケート)

子どもの「友人関係」等に関する考え方、感じ方の測定のために絞り込まれた質問項目により構成

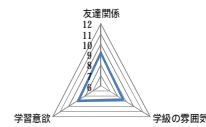
小学校版
全9問(友達関係3・学習意欲3・学級雰囲気3)

中学・高等学校版
全20問(友人関係4・学習意欲4・教師関係4・学級関係4・進路意識4)

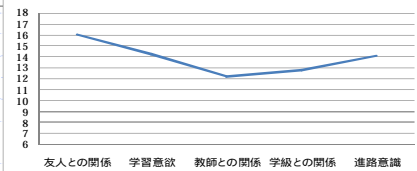
学校生活意欲プロフィール例

参考資料

学校生活意欲プロフィール(小学校用)



学校生活意欲プロフィール(中学・高校用)



ソーシャルスキル尺度

参考資料

(ふだんの行動を振り返るアンケート)

子どものソーシャルスキル(対人関係のコツ)を測定するための質問項目により構成

小学校1~3年版全12問(配慮6・かかわり6)
小学校4~6年版全16問(配慮8・かかわり8)

中学校版全18問(配慮9・かかわり9)
高等学校版全20問(配慮10・かかわり10)

「いごち」で大まかに、
「やる気」、「行動」で丁寧に把握

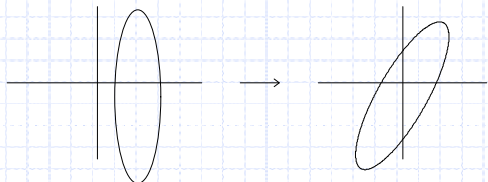
縦型・管理型学級の問題

参考資料

一定のルールの下で集団活動がとれるが、教師の力による押さえつけてルールが守られている場合、そのルールは子どもの中に内在化していない。厳しい教師がいないところで、日頃の不満が噴き出す。教師の評価基準により、子どもが階層化されており、承認感の乏しい子どもは苦しい立場にいる。真ん中以下にいる子どもはあきらめの気持ちになる。

縦型・管理型からの崩壊プロセス

- ◆ ルールがしっかりしているため、侵害行為を認知していないが、教師の評価基準により、承認感のある子どもとない子どもが階層化している。承認感のない子どもはやがて不満足群に流れる



25

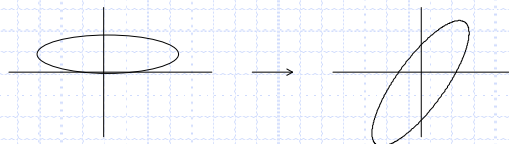
横型・なれあい型学級の問題

教師が厳しくない分、学級の雰囲気はほんわかしている。小さな寺子屋風。授業中、「先生、これやっていい?」という声が飛び交い、自ら考える活動が乏しい。かかわり上のトラブルも多く、教師はその都度対応を求められる。小集団グループがたくさんあり、内部に閉じて「私たち仲間よね」という意識で動く。共通の敵を作ることによって団結が強まるため、グループ同士の仲が悪くなる。見えなしいじめが進行していく。

26

横型・なれあい型からの崩壊プロセス

- 教師が穏やかで友だち感覚のかかわりをする学級。子どもたちは認められている感覚はあるが、ルール遵守が弱いので、いじめられ感をもつ子どももいる。その子どもたちはやがて不満足群に流れる。



27